



2630 Nakatsugawa Center Rotary Club

築こう更なる友情

サブテーマ : 深めよう信頼と絆

広げよう友情の輪

2011～2012年度 RIテーマ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2012年6月11日 No.1699

本日のプログラム

1. 開会点鐘
2. Rソング斉唱
3. ゲストビジター紹介
4. 会長の時間
5. 会員慶事
6. 食事と交歓
7. 出席率・スマイルボックスの発表
8. 委員会・幹事報告
9. 卓話「4大奉仕委員長」
10. 閉会点鐘

今後のプログラム

- 6/11 四大奉仕委員会振り返り
- 6/18 最終例会・退任挨拶

前回の出席率

6/4 80.00%(36/45)
 会員総数 46名
 出席免除者 2名
 5/28 補正 81.82% (36/44)

メーカーアップ

石川英治君、立木亮治君、丸山充信君、小倉忠雄君、吉村浩平君、伊藤博行君、堀正勝君、郷原基幸君(中津川)

会場設営

6月度: 国際奉仕・米山奨学
 R財団・プログラム

会長の時間

海と潮干狩り

戦争が終わった昭和の20年代、世の中は大変厳しい状況の中であったようですが、山の中で生まれ育った私は7歳になるまで海を見たことがありませんでした。阿木には昭和30年代まで小学校には小学校1・2年が就学する複式学級の広岡分校という学校がありました。もう57年ぐらい前の話になりますか。分校の生徒全員が知多半島の何という海が忘れましたが、海水浴に連れて行っていただきました。その時はじめて海を見たのですが、あの広い海原と高い波。地平線の彼方まで広がる広い海を初めてみて子ども心に大変感動したことを思い出します。その後、海を見るたびにその感動を思い出します。



家族のためなら少々危険を顧みず沖へ沖へと出ていく若い父親(津波がきたら大変)

さて、昨日は阿木の地元で恒例になっている清水組の日帰り旅行で、地域の皆さん29人と日帰りで「三河一色衣浦海岸へ潮干狩り」に行っていました。当日の天気予報は曇りのち雨でしたが、午前中の海岸には数百人のアサリハンターが押し寄せ結構なにぎわいでありました。幸いにも干潮の潮干狩り3時間は雨も降らず、波も低く、風もなく良い条件に恵まれた中で、アサリ獲りに精を出すことができました。中には10kg以上のアサリを獲った者が数人いて、平均は5kg以上でまああの漁獲量との評価でありました。更に当日が潮干狩り最後の日ということもあって、衣浦漁協組合から1kgのアサリをお土産に頂き、みんな大満足して帰ってきました。

潮干狩りに行ったら誰でもたくさん貝(アサリなど)獲りたいと思うでしょうが、そう簡単なことではありません。漁獲量を上げるためにはそれなりの基本と考え方を学ぶことが肝要かと思えます。今年の潮干狩りシーズンは昨日で終わった訳でございますが、皆さんが来年潮干狩りに行かれた際少しでもたくさんの貝が獲れるよう「潮干狩り5ヶ条の秘伝」をロータリーの友情で今日お集まりの皆さんだけに特別伝授いたします。

その 慎重な準備を怠ることなかれ 手かぎ・かご・長靴・着替えなど万全の準備で臨め
 その 心構えは潮干狩りに心を集中せよ 朝起きたら「よーし貝をとるぞー」と気合いを入れて出発

その ポイントの情報収集と絞り込み 受付で「前日どこにアサリをまいたか」さりげなく聞き取る

その まじめにコツコツ努力 潮が満ちて来るまで俗世間のことは考えず「ひたすらまじめにコツコツ」と働く

その 漁獲量はその日の運 獲れるか獲れないかは天気・波の高さなどに左右され漁獲量は多分に「運」が影響

それではみなさん、来年の潮干狩りのご武運をお祈り申し上げまして会長の時間を終わります。

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

【発行責任者】

会長 鷹見憲三
 幹事 堀正勝
 会報 吉村浩平
 (原稿送付先:
 yoshimura@systemy
 o.co.jp)

例会会場: 中津川商工会議所

例会日: 月曜日 12:30 ~ 13:30

事務局: 中津川商工会議所 3階

TEL: 0573-66-7301 (事務局)

携帯: 090-1283-8618 (堀幹事)

E-mail: info@2630ncrotary.org

URL: <http://www.2630ncrotary.org>

赤座薫君卓話「糖尿病の大事なお話！ これだけは知ってください！！」

『HbA1c』まずこれは『ヘモグロビンエーワンシー』と読みます。何を示すかという、過去1~2ヶ月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断に用いる数値です。

この数値が、4.3~5.1% 正常、5.2~5.9% 境界型、6.0%以上を糖尿病と診断します。

しかし、ここで非常にややこしいことをお話しなくてはなりません。

この値は、日本独自の表記で、JDS値というものです。これでは世界に通用しないということで、日本糖尿病対策推進協議会が、平成24年4月より、HbA1cの表記をグローバルスタンダードなNGSP値に変更すると決定したのです。これに関しては、すでに糖尿病で治療を受けてみえる方は、今年の初めより、主治医から立派なパンフレットを添えて十分に説明を受けていることと思います。簡単には、NGSP値=JDS値+0.4と解釈していただければ結構です。したがって、新しい概念では5.6~6.3%境界型、6.4%以上を糖尿病と診断するとなった訳です。

しかし、しかし、しかしですぞ！ここで問題発生です。厚生労働省から、行政主導で行われる健康診断に関しては、平成25年3月までは、旧来のJDS値のみで表記すべしとお達しがあったのです。さらには、一般の健康診断、人間ドックもJDS値とNGSP値を併記するようにとの決定となりました。現在糖尿病で治療を受けている患者さんはNGSP値でいきましょう。したがって、医療従事者においては、新旧いずれの数値かを混同することなく過ちの無い医療をなささいと・・・

どういことでしょうか？医療のように間違いがあってはならない職場で、このような煩雑な対応をせよということは、簡単には承服するわけにはいかないと思います。

一番、混乱されるのは、健康意識の高い健康診断受診者の方々や、糖尿病患者さんの間では話が噛み合わなくなるのは必至でしょう。

このような不可解な事態にいたった原因は何でしょう？何のことは無い、単に行政主導の健診システムのソフトがNGSP値に対応できなかっただけの事の様です。余りにも原因が稚拙すぎます。見方を変えれば、日本糖尿病対策推進協議会が行政と協調せずにフライングしたとの解釈も成り立ちますが、医療現場はそれに対応しているわけですから、行政のネットワークの悪さには腹立たしいものがあることは否めません。

行政は行政サービスです。常に民の立場にたって、どうしたら利便性が高いかを考えなければならない筈です。こんな0.4という小さな値ひとつをとっても、大きな霞ヶ関の問題点を垣間見ることができる気がします。



SmileBox

- ・本日は健康診断結果講評です。赤座先生宜しくお願ひします。どうぞお手柔らかに!!
会長 鷹見憲三 副会長 伊藤博行 幹事 堀 正勝
- ・5月28日、砂防学習会に沢山の会員の皆様他ご参加有難うございました。青山中津川市長にもご挨拶頂き、大変盛り上がりました。中日・岐阜・読売各新聞にも記事が掲載されました。 新世代委員長 小椋一朗
- ・本日は、先日行いました「会員健康診断」の結果等をお話しさせて頂こうと思います。宜しくお願ひ致します。
赤座 薫
- ・連続皆出席表彰22年を祝って頂きました。有難うございます。 小倉忠雄
- ・誕生日を祝って頂き有難うございます。6月の誕生日は若手2人だけです。 堀 正勝
- ・妻の誕生日を祝って頂き有難うございました。 幸脇利幸 棚橋洋一
- ・四ツ目川草刈りと、植樹例会欠席しました。(社員研修の為) 城山病院の赤座先生会員健康診断報告御苦勞様でございます。 古川和博
- ・昨日6月3日、第27回人形供養祭を南林寺で開催致しました。午後雨が降ってきて、少々困りましたが、大勢の供養の申込がありました。南林寺としては、地域社会に対して、寺院として最も適合した奉仕が出来ました。ご協力を頂いた会員諸兄に心からお礼申し上げます。 磯村邦彦
- ・副議長に就任しました。宜しくお願ひします。 鷹見憲三
- ・今週8日の金曜日に桑名正博茶木みやこのコンサートがマジョリカであります。アニーホールはチケット販売の協力をしています。4,500円と少し高いですが、奥様のプレゼントに如何でしょうか。 佐古和也